

2019年3月1日更新

トライアルコース用データの作り方

この右の青い台紙1枚がA4またはA5トライアルコースで印刷できる範囲です。
3mmの余白をつけるようにしてください。

1. デザインする

- 青台紙内のデザインを削除して、「カラーレイヤー」に新たにデザインしてください。
- 印刷可能な線幅などは定型サンプルを参考にしてください。
- カラー原稿はCMYKで「カラーレイヤー」にデザインして下さい。
グレーはKよりPANTONE特色指定したほうが綺麗に印刷されます。
PANTONE特色は右のスウォッチパネルから選択できます。
グレー以外のカラーもカラーチップから希望色を印刷したい場合、スウォッチで指定可能です。
※特色蛍光色・メタリックを除く
- パスはかならず閉じて下さい。オープンしたままのパスはエラーの原因になります
- 不要なオブジェクトは必ず削除してください。非表示状態でもエラーの原因になります
- カット線は不要です。カットサービスは標準コースのみに付属しています

2. 白のデータ作り

- 下地に白が必要な柄は「下地白印刷用」のレイヤーにスウォッチの「ホワイト」でデータを作成してください。
また、「ホワイト」は柄の内側0.05mmオフセットさせてください。右図の「サンプル」を参照のこと。
オフセットしていない場合は、カラーの周囲からはみ出して見えます。
- Photoshopなどで作ったラスターデータを使いたい場合。下地に白印刷が必要な場合は、白印刷をしたい部分用にパスデータ作成が必要です。(次項を参照)

3. Photoshopなどで作ったラスターデータを使いたい場合 (右図参照のこと)

フォトショップ画像を貼り付ける場合、解像度600~900dpi (PPI)、CMYKに変換後に貼り付けて下さい。
配置ではなく、埋め込みが必要です。RGBモードで入稿したい場合は、画像もRGBのままかまいません。
イラスト(画像)の下、またはイラスト内に白を入れたい場合は、必ずパスデータを作る必要があります。こちらでトレースは行いません。
白を入れない場合、印刷に使うデカール用紙は透明ですので、白に見える部分は下地が透けます。

4. データ送信前のチェックをお願い致します

- フォントを使用した場合は、かならず「アウトラインを作成」して送ってください。
- 非純正プラグインを使用した場合は、かならず「アピアランスを分割」して送ってください。
- 不要なオブジェクトは必ず削除してください。非表示状態でもエラーの原因になります。

サンプル



サンプル

